

## 日本英文学会中部支部第70回大会プログラム

日 時：2018年10月27日(土)

場 所：愛知学院大学名城公園キャンパス（名古屋市北区名城3丁目1番1号）

大会受付 12:20より（キャッスル・ホール 1階 入口）

開会式 12:45～12:55（キャッスル・ホール 1階 1104）

開会の辞 日本英文学会中部支部長 宮地 信弘

開催校挨拶 愛知学院大学副学長 後藤 俊明

総会 12:55～13:20（キャッスル・ホール 1階 1104）

シンポジウム 13:30～15:40

第1室（英語圏文学・文化） キャッスル・ホール 1階 1102

『英語圏文学・文化における移民・外国人の表象』

司会・講師 松本 三枝子（愛知県立大学名誉教授）

講師 楚輪 松人（金城学院大学教授）

平出 昌嗣（千葉大学教授）

平沼 公子（名古屋短期大学准教授）

第2室（比較文学・文化） キャッスル・ホール 1階 1103

『語る・書くことの効用——臨床心理学の立場から・犯罪者・フクシマ』

司会・講師 加瀬 佳代子（金城学院大学教授）

講師 池田 豊應（元愛知学院大学教授 臨床心理士）

岩田 和男（愛知学院大学教授）

第3室（英語学） キャッスル・ホール 1階 1104

『通時的構文研究の射程——現状と課題』

司会・講師 前田 満（愛知学院大学教授）

講師 川端 朋広（愛知大学教授）

石崎 保明（南山大学准教授）

研究発表 第1発表 15:50～16:15 第2発表 16:20～16:45

第3発表 16:50～17:15

第1室（英文学） アガルス・タワー 5階 2510 15:50～17:15

第2室（英語学） アガルス・タワー 5階 2511 15:50～17:15

第3室（英語学） アガルス・タワー 5階 2512 15:50～16:45

閉会式 17:20～17:30（キャッスル・ホール 1階 1104）

閉会の辞 日本英文学会中部副支部長 鈴木 達也

懇親会 18:00～19:30 猿カフェ（会費4,000円）

## 研究発表一覧

### 第1室(英文学)

アガルス・タワー 5階 2510

司会 内藤 亮一(富山大学教授)

1. 『タイタス・アンドロニカス』における代替と繰り返し  
谷ノ上 千奈美(名古屋大学大学院)
2. 『ロンドンの三淑女』における二人の高利貸し  
——ロンドンの都市問題とカトリック・ユダヤへの  
嫌悪  
奥山 厚子(名古屋大学大学院)

司会 川津 雅江(名古屋経済大学名誉教授)

3. George MacDonald's Imaginative Writings  
and their Impact on the Fantasy Works of J. R.  
R. Tolkien and C. S. Lewis  
秦野 康子(名古屋大学大学院)

### 第2室(英語学)

アガルス・タワー 5階 2511

司会 柳 朋宏(中部大学教授)

1. 英語における主語コントロール述語から繰り上げ  
述語への歴史変化について  
笠井 俊宏(名古屋大学大学院)
2. 多重SluicingとSwipingの義務的削除について  
の一考察  
平田 拓也(名古屋大学大学院)

司会 吉田 江依子(名古屋工業大学教授)

3. Tough構文に於ける空演算子移動とthat痕跡  
効果  
前澤 大樹(藤田衛生保健大学准教授)

### 第3室(英語学)

アガルス・タワー 5階 2512

司会 二村 慎一(愛知淑徳大学教授)

1. 英語の中間構文の特徴  
——総合複合語の形成から考えて  
柘植 美波(金城学院大学大学院)
2. 英語論文のアブストラクトに関する一考察  
——日本語話者と英語話者の傾向の差異に  
着目して  
藤原 隆史(松本大学講師)